



群馬パース学園短期大学 学園だより

平成15年9月13日

夢の架け橋

理事長
樋口建介



学校法人 群馬パース学園
〒377-0702
吾妻郡高山村中山6859-251
TEL 0279-63-3366(代)
FAX 0279-63-3477

平成15年9月13日、学校法人群馬パース学園は、高崎駅東口から歩いて5分程の場所に高崎校舎を完成させた。それは、高山村に我が法人が持てる力以上の力を以て、群馬パース看護短期大学を開学した時には描かなかった展開であり、我ながら「夢」のような現実である。以下、私の高崎校舎竣工式での挨拶を以てこの感動と未来への夢を皆様にお伝えしたい。

「本日は、学校法人群馬パース学園高崎校舎竣工式典にご出席戴きまして有り難うございました。

群馬パース学園短期大学を開学以来、高山村長、議会の皆様には数々のご無理なお願いをさせて戴いております。そして、群馬パース学園高崎進出にあたり、心よく受け入れて下さったうえに、用地確保にご尽力戴きました高崎市長をはじめ市長公室長、山口整備局長、高崎経済大学 石井学長にも心よりお礼申し上げます。この度、群馬パース学園第一期工事を本日迎えられましたのは、高崎信用金庫 石田部長、国際警備保障株式会社 樋口常務、元群馬セミナール福祉井先生、皆様のご協力の賜物と感謝しております。

第二期工事は、平成17年4月の四年制大学開学に向け近々着工の準備を進めております。

そして、四年制大学として認可を戴けると確信し、平成16年12月

22日、盛大なる「群馬パース大学開学記念式典」を挙行の予定でございます。本日ご出席戴いております皆様、その節はよろしくお願い致します。

四年制大学を無事開学出来ましたらその少し先に、薬学部を増設し、薬剤師を養成し地域における専門職養成機関である大学を完成型にしたいと考えております。

これからの保健医療福祉は、予防の概念も含んで地域で、在宅で展開されるものと予測しています。その要となる専門職は、看護師、保健師、理学療法士そして薬剤師であると考えています。群馬パース学園が、地域と一体化し地域の中核となることを夢みて、ただひたすら努力を続ける所存でございます。

高崎校舎を、その夢の架け橋にしたいと、本日、未来への夢を語らせて戴き、竣工式典の挨拶にかえさせていただきます。」

ほんの一握りの夢を描いた昭和52年4月から25年。また自分の手の中に、次の夢を握りしめ必ず実現させたいと、改めて自分に誓っている。



あざみ

群馬パース学園短期大学

公開講座

「健康法と

能力開発法について」

(平成15年9月13日)



講演 栗田昌裕 教授

群馬パース学園短期大学「高崎校舎」にて、平成15年度第1回公開講座が開講されました。

講師は、群馬パース学園短期大学栗田昌裕教授。「健康法と能力開発法について」と題し、栗田先生の提唱する「栗田式健康法」のいくつかの技術、具体的には「指回し体操」が紹介され健康法と能力開発法について、健康づくりに必要な考え方の解説がなされました。
肩凝り、腰痛などがどのように解除され、元気になり、知的能力が上がるかを実際に体験することにより、日常生活に活かしていただきたいとのことでした。

「遺伝と子供——

ヒトゲノム解析が

教えるもの」

(平成15年11月1日)



講演 青山正征 教授

第2回公開講座は、群馬パース学園短期大学高山校舎にて、本学の青山正征教授により「遺伝と子供——ヒトゲノム解析が教えるもの」と題して講演が行われました。

遺伝子研究により、染色体・ヒトゲノム解析が、人間の体にとどのような影響をもたらすかなど、最近のトピックスを解説する講演内容となりました。
聴衆は少なめの講演会となりましたが、「遺伝子組み換え食品がなぜ人体に悪いか」「オーダーメイド治療の可能性」など身近な話題もあり、参加者から熱心な質問が寄せられていました。

「糖尿病をめぐる

最近の話題」

(平成15年11月18日)



講演 小林功 副学長

第3回公開講座は、医療福祉に関係する専門職のために特別公開講座「糖尿病をめぐる最近の話題」をテーマとし、本学の小林功副学長(元群馬大学付属病院院長)が講演しました。

最近では、糖尿病の可能性を否定できない成人が5〜6人に1人いるとのデータから、診断基準と病型分類、糖尿病診断、糖尿病合併症などが説明されました。その予防法としての食事療法・運動療法が紹介され、最近の治療動向などもスライドを使いながら紹介されるなど、質疑応答も含み2時間程の講演時間が短く感じられるような特別公開講座となりました。

野外生活体験実習



看護学科・学科長
高木タカ子

本年は日常生活体験が乏しい一年生のために日常生活の原点を体験させて、その後に病院実習を行い、患者様の生活環境を整える援助から学習させることになった。この体験学習を「野外生活体験実習」と言う。

日時 7月17日～7月23日(4泊5日)

場所 嬭恋村千俣バラキ湖「青我の丘道場」

指導者 高木タカ子とそのグループ
参加者 群馬パース学園短期大学看護学科一年生74名。

目的 自然の中で集団生活を通して自己を見つめると共に、看護の原点を学ぶ。

目標 ①徹底した野外生活の中から、自己の生命の大切さ、自然の偉大さを知り、自己を謙虚に見つめる。

②人間の「基本的欲求」が体験の中で実感できる。

③「人間関係」の意味や大切さが理解できる。

④グループ活動を通して「協力」「思いやり」「優しさ」などの意味が理解でき、交友関係を広げることができる。

評価 今年とは異常気象で曇りと雨と低温であった。注意事項をきちんと聞いて準備した者は良かったが自然を甘く見て準備不足のものは寒くて大変であった。しかし各自の体験実習目標は高かった。私はこの点を高く評価した。他力本願では何も進まない現実に立たされて協力することが少しずつできるようになり、時間に勝てるまでに4日もかかった。

その理由は、お互いのコミュニケーション能力が低く、人間関係作りが最初は出来なかった。役割分担をするようになってうまく機能しない。役割に責任をもてない。役割が出来ても役割と役割のあいだを、埋めることの出来るものがない。などのチームワーク不足であると感じた。この体験をしなから学生は一人一人が自己に気がつきチームワークを成功させる為に、多くは自分を変える努力が出来た。そして目標を達成することが出来た。

大学設置に係わる募金活動について

4年制大学設置につきましては、募金活動を広く推進しております。つきましては、誠に恐縮ですが、皆様のご支援を賜ります様お願い申し上げます。

●募金要項●

- 募金の目標額 700,000千円
- 募集の方法 ①個人「特定公益増進法人」への寄附金
②法人「受配者指定寄附金」への寄附金
- 振込銀行 東和銀行 沼田支店 (添) 747422
- 口座名義 学校法人群馬パース学園 理事 樋口健介

—— この募金に関するお問い合わせ先 ——
〒377-0702 群馬県吾妻郡高山村中山6859-251
学校法人群馬パース学園 事務局
TEL: 0279-63-3366 FAX: 0279-63-3477

同窓会「コーナー」

第二回生 今井 直樹

現在の勤務先
医療法人社団ほたか会ほたか病院

働きだすと休みが少なく、自分の時間というものをなかなか持つことができません。学生の頃の方が時間があつたと感じます。皆さん時間を大切に使う下さい。

一年生は共同生活、かなり大変だと思えます。しかし「人間関係の築き方」を身につけるのに役立ちます。なんとかのりきって下さい。

い。ストレス発散方法、相談相手早く見つけることがポイントです。

二年生、遊んで下さい。勉強と両立できる範囲で思いっきり遊んで下さい。

三年生、勉強して下さい。限界と思つてもそれ以上して下さい。「もつとやつとけば」と絶対思いません。

一年はあつという間ですが、なかなかやるには十分な時間です。有意義な一年を送つて下さい。



栗田昌裕教授 「奨励発表賞」受賞



平成15年3月15日、栗田昌裕教授の「十日間の速読講習による一五〇人の心身機能の変化」が、国際生命情報科学会（ISLIS）より「奨励発表賞」の対象となり見事受賞されました。

近藤照彦助教論文又表彰



平成15年11月15日、近藤照彦助教が日本臨床スポーツ医学会へ「TNF- α 濃度の変化からみた肥満女子学生の長期間中等度一般的運動の効果」論文を投稿され表彰されました。皆様も近藤先生に続いて表彰を受けられるように頑張りましょう。

教授昇格者



平成15年10月16日、理事会にて中垣紀子助教が教授に推挙され、満場一致で承認されました。今後もパース学園のために頑張ってください。

事務局退職者

平成15年7月15日退職。
神村悦子(旧姓・儘田)。



この度、高山キャンパス内に学生会館が出来上がりました。この会館は、各学科・学年の学生相互は勿論のこと学生と教職員の親睦を得る場として、また、自由闊達な学生の文化交流を図り、社会に貢献しうる人材の育成に寄与する目的で設置されたものであります。

一階は、誰でも自由に利用できるラウンジとし、二階は、学友会室、レクリエーション室として同好会等が利用する予定であります。

学生会館の紹介



防災訓練を終えて

去る10月15日、全学生教職員を対象に自衛消防訓練のうち避難誘導訓練と消火訓練を実施しました。前段で実施した訓練は、講義中に構内某所からの出火を想定し、非常用放送設備により校内一斉に警報を出して、講義中の教員が避難誘導の現場責任者となり、非常口を使って学生を安全かつ迅速に誘導し、一時集合場所において点呼をとり異状の有無を訓練統括者の防火管理者（金谷事務部長）に報告するというシナリオで実施しました。

後段の訓練では、屋外で模擬火災を発生させ校内に備えつけの消火器を使って、学生の代表に初期消火の体験をしてもらいました。また屋内消火栓を使つての放水訓練も学生の代表に体験してもらい、より実践的な訓練に留意し、所期の目的を達成することができました。



私立大学スポーツ大会

平成15年10月14日（高崎健康福祉大学・主管校）

フットサルチーム（男子）



フットサル（男子）優勝

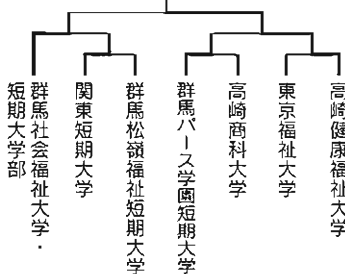
対 戦 校	成 績
群馬社会福祉大学短期大学部	2-0
東京福祉大学	5-1
高崎商科大学	4-3
群馬松嶺福祉短期大学	7-1
関東短期大学	5-0
高崎健康福祉大学	3-2

ソフトボール（男子）



群馬パース学園短期大学
第3位

優勝 高崎健康福祉大学



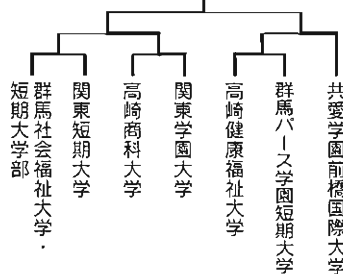
ソフトボール（女子）

群馬パース学園短期大学
第2位

硬式テニス（男子）

群馬パース学園短期大学
1回戦敗退

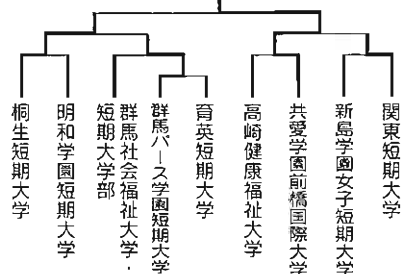
優勝 関東学園大学



硬式テニス（女子）

群馬パース学園短期大学
第3位

優勝 共愛学園前橋国際大学



平成15年度 理事会決定事項について

第21回 平成15年5月28日(水) 開催場所・学校法人群馬パース学園

理事9名中・出席理事7名で議案の審議を行い次のような報告と決定事項がなされた。

第一号議案 大学の近況報告

- (1)平成15年度学科別入学人数について
看護学科78名・地域看護学専攻科27名・理学療法学科44名・計149名
- (2)在籍学生数(H・15・5・1現在)について
在籍学生数 総計364名
- (3)平成14年度看護師及び保健国家試験結果について
看護師国家試験合格率93.4%、保健師国家試験合格率91.3%の結果であった。

第二号議案 受配者指定寄附金納入状況について 平成15年5月28日現在の状況報告がなされた。(16.3%)

第三号議案 「倉庫建物」を「学生会館」へ用途変更について 通学生使用を中心として変更が承認された。

第四号議案 平成14年度決算について 予算に対して多少項目での相違はあるものの収支差異も予算額とほぼ同額で推移し、監査報告では割田・吉田両監事が監査を行い経理は正確であり、適正に執行されていることを認めた。

第五号議案 高崎校舎1号館改装工事について 各階ごとの改装工事についての説明がなされ承認可決された。

第六号議案 高崎校舎1号館改装工事に伴う受配者指定寄附金申請について ①高崎校舎取得に伴う募金額1億円について現在募集中実施中の報告。 ②高崎校舎1号館改装工事による目標額7千万円の募集中開始。 ③大学設置経費目標額7億円を②同様「受配者指定寄附金」で募集することについて承認された。

第七号議案 大学設置に係わる募金活動について 「募金目標額7億円」を個人向け「特定公益増進法人」又、法人向けとして「受配者指定寄附金」の併用した募金活動を行う事で承認された。

第八号議案 その他 高崎校舎の竣工式典を平成15年9月13日を予定している旨報告がなされた。

第22回 平成15年10月16日(木) 開催場所・学校法人群馬パース学園

理事9名中・出席理事8名で議案の審議を行い次のような報告と決定事項がなされた。

第一号議案 大学の近況報告

- (1)高崎校舎竣工式典実施報告
平成15年9月13日(土)高崎校舎にて97名出席により竣工式典が開催された。
- (2)大学設置準備委員会報告(第4回)
平成15年3月~平成15年9月開催の大学設置準備委員会の経過報告がなされた。

第二号議案 受配者指定寄附金納入状況報告 平成15年9月30日現在9社より59,400千円の募金申し込みがあり残金40,600千円についても引き続き募集を掛ける。

第三号議案 高崎校舎2号館改築について 高崎校舎2号館については老朽化・耐震性に問題があることが判明。改修から改築工事に(工事費1億円)変更承認された。

第四号議案 平成16年度入学選抜試験における「特別奨学生選抜試験」制度の導入について 全国から優秀な人材を募り、水準の高い専門職を育成することを目的として導入提案され承認された。

第五号議案 学校法人群馬パース学園法人为本部の事務所移転について 法人为本部を現在の群馬県吾妻郡高山村より、群馬県高崎市岩押町所在の高崎校舎に移転する旨提案され承認可決された。

第六号議案 四年制大学設置に伴う大学名及び学部・学科の名称について 以下のとおり決定された。

大学名	学部名	学科名
群馬パース大学 (英文名) Gumma Paz College	保健科学部 (英文名) Faculty of Health Science	看護学科 理学療法学科

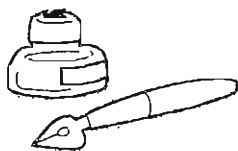
第七号議案 寄附行為の一部変更について 平成17年度を目途として、短期大学を4年制大学へ改組することに伴い寄附行為の一部変更を以下のとおり提案し承認可決された。 ①法人本部事務所の移転。 ②4年制大学の設置に伴い、大学名、学部名、学科名を新たに加えること。 ③大学設置経費の一部について、寄附金募集を行うことに伴う、寄附金募集の条項を加えること。 ④附則を加えること。

第八号議案 教員の昇任人事について 本学教授会に於いて、中垣紀子助教授(小児看護学担当)の教授昇任を受け、学長より教授推荐について諮られ承認された。

学校法人群馬パース学園
**「群馬パース大学
 保健科学部」**
開学に向けて

学校法人群馬パース学園では、平成14年5月に「大学設置準備委員会」を発足し、大学化の準備を進めております。平成15年10月の理事会にて大学名「群馬パース大学」、学部名「保健科学部」と決定されました。平成16年4月には文部科学省へ「群馬パース大学設置認可申請書」を提出し、認可は平成16年11月頃、認可されることよって平成17年4月には「群馬パース大学」が開学となります。

「群馬パース大学保健科学部」は看護学科、理学療法学科の2学科で構成されます。群馬パース看護短期大学、群馬パース学園短期大学の卒業生の皆さん、「編入学」で学部卒業や保健師受験資格取得を目指して下さい。



野外生活体験実習

バラキキャンプ場 (H15.7.14~23)



高崎校舎 竣工式典 ・祝賀式

(H15.9.13)



高崎校舎引渡しにて

(H15.8.31)



編集後記

高山村の木々も葉が散り、寒さも一層きびしくなりました。
 周りの山々には、雪も積もりはじめ、入試も最盛期に突入です。
 今年から入試会場も高崎校舎で行い、気持ちも引き締まる思いです。また、四大に向けて着々と準備を行い、順調に進んでおります。今後も「学園だより」充実のため皆様方のご指導ご支援をお願い致します。
 次回の「学園だより」発行は、来春5月頃を予定しております。
 皆様からの ご意見・ご感想お待ちしております。
 〒377-0702
 群馬県吾妻郡高山村中山6859-251
 TEL 0279-63-3366(代)
 FAX 0279-63-3477
 URL <http://www.paz.ac.jp/>
 E-mail paz@paz.ac.jp

学園祭 (H15.11.1~2)

